

トラッドなのです

世界のリーダーたちはなぜトラッドなのか？ その名のごとく伝統的な服は人々に安心感を与えます。日本を代表する服飾史家、中野香織さんを選者に迎え、トラッドな人を抽出しました。

my TRAD IDOL

**Prince Philip,
Duke of Edinburgh**
エディンバラ公
フィリップ王配

エリザベス女王と結婚後、60年以上そのスタイルが変わりません。公人として姿を見せてきたフィリップ殿下だが、その外見が批評対象になったことは一切ない。理想的なスーツスタイルのモデル。

きりっと織り込まれた
スクエアのポケットチーフが
唯一のアクセント

英国王室の エスタブリッシュメントな 着こなし

スーツ発祥の地といわれている英国。「着こなしのよいお手本として英国王室は外せません」と中野さんが言うように、そこには、不変の美学が脈々と続く英国スタイルの真髄を見ることができます。

完璧に抑制の利いた姿が宿す、
自立たぬ賢さ

グレイかネイビーのシングルスーツに、白か淡いブルーシャツを合わせ、シルクタイを締め、足元は黒靴。そして唯一の装飾が白いポケットスクエア。女王の夫として奥さまより目立たず卑屈にならない、「王室にふさわしき抑制」と評される、まさにブリティッシュジェントルマンスタイル。スーツは約45年間、サヴィル・ロウの「Kent Haste & Lacther」で、作っています。

典型を上品にハズす！
あえての大きなノット、
ワイドラペルで大胆華麗に

プリンス・オブ・
サスティナビリティを
象徴するリペアされた靴

my TRAD IDOL

**Prince Michael
of Kent**
マイケル・オブ・
ケント王子

エリザベス2世の従弟。ジェームズ・ボンドのスーツを作ったトム・フォードがメンズウエアの指針とする人。トレードマークは「リッチなタイでビッグなノット」で皇帝のような風格をただよわせる。

my TRAD IDOL

**Charles,
Prince of Wales**
チャールズ皇太子

プリンス・オブ・ウェールズは、代々スーツスタイルの規範となってきました。彼も例外ではなく個性や生き方を反映。あまりの不変ぶりに「止まった時計」と揶揄されたこともあったが我が道を貫く。

不動のロイヤル
スタンダードを貫く心意気

装いはほぼ一貫しており、グレイのダブルスーツ、タイは小さいノット、胸元には花をあしらうのが定番です。ジョン・ロブの靴はリペアを繰り返し、長年履き込んでいます。1980年代に有機農業に取り組み、当時は変人扱いされましたが、サスティナビリティが謳われる現代では、時代の先導者として見なされます。行動とスタイルが一貫しているのも、おもしろいところです。

ザ・イングリッシュ・
ジェントルマンの王道

巨大ノットのタイを高い襟のシャツで迫力あるスーツ姿で着こなしています。よく手入れされた口ひげと鬚ひげが、時代錯誤すれすれのスタイルにエドワーディアンな趣を与え、約100年前の英国の紳士像を現代に再現しています。「サヴィル・ロウの顔」であり、ドレススーツの懂れとなりえるお方です。ウィンザー公の継承者であり、ひとつのアイコンとして存在感を放ちます。

British Royal Family

世界に影響を与える指導者は

世界の政治家の トラッド偏差値は？

支持率を得るため政治家は、戦略的に印象を作り上げます。それは服装にも見られ、男らしく、知的に、しかも誠実な印象を与えられるためトラッドに身を包みます。好印象を狙える万能なスタイルなのです。

my TRAD IDOL

John Fitzgerald Kennedy
ジョン・F・ケネディ

第35代アメリカ合衆国大統領。1960年代のアメリカにおけるトラッドの形成を語る上で欠かせない人物。サヴィル・ロウで見繕った細身の2ボタンスーツは、当時の政治家としては画期的です。

白シャツに細いタイを
プレーンノットで！

アイビーリーグのハーバード大卒ながら公の場ではボタンダウンシャツを着ないというモットーが。それは鼻持ちならないエリート意識の表れとして反感を買うのを防ぐため。3ボタンが主流のなか、ウエストシェイプが効いた2ボタンのスーツに白シャツ、細身のタイで清新な権威をアピール。

my TRAD IDOL

Justin Trudeau
ジャスティン・トルドー首相

「カナダでもっとも偉大な首相」と讃えられた第20・22代首相故ビエール・トルドーの長男。容姿端麗かつインテリで、そのトラッドスタイルが洒脱。立ち居振る舞いも颯爽たる若き第29代カナダ首相。

大胆なりベラル道と
トラッドな着こなしの融合

現代の政治家には珍しく、スリーピーススーツも多い。ラベルやトラウザーズはスリムが基調。ネイビースーツに茶色の靴を合わせたり、ダボス会議ではスカル柄、APECではアーガイル、オタワ会議ではメープル柄と派手な靴下で注目を浴びたりとコンサバと意表をつく大胆さのミックスが絶妙。

七光じゃない！
力説と好印象は
色濃く受け継ぐ



my TRAD IDOL

Shinjiro Koizumi
小泉進次郎

ジャストフィットで、基本をはずさない端正なトラッドスタイルは、20～30歳代のビジネスマンのお手本となります。スーツは無地、タイはストライプや柄ものが多い。麻生財務相に続くスタイルアイコンに。

底知れぬ清潔感が
あふれる2世政治家

シャツは常に白。首回りがピタッとあって、タイレスでもポケットスクエアを挿していることが多く、きちんとした清潔感を保っています。若さとワイルドネス、誠実さと気取りのなごの絶妙な融合をスーツでも体現しています。力強い演説とあいまって、全方位に好印象です。

エリート階級を
におわせない、
緻密な着こなし



Politician

コンサバに
現代性を加味
する異端児



ルールには
従わない、
型破りな装い

my TRAD IDOL

Barack Obama
オバマ米大統領

常に同じ印象を与えるスーツのノームコアスタイル。時折、腕まくりしたシャツ姿で仕事に意欲的イメージを演出しています。上着は細身にフィットするソフトショルダー2ボタンで美しいドレープです。

英国王室への反旗か!?
崩しのスタイルを確立

2009年の大統領就任記念舞踏会でのタキシード姿は白ボウタイ、ポケットチーフなし、フラップポケット付きとフォーマルの規範外のスタイル。この礼儀知らずぶりの着こなしにファッション業界からバッシングの嵐。2013年、同席でもポケチを挿しただけの同じスタイルで登場。新アメリカンクラシックの構築か？

トラッドな名品がふんだん

Storyteller Profile

服飾史家
中野香織さん

古代から来シーズンまでの男女ファッション史を研究、執筆、講義する服飾史家。明治大学国際日本学部特任教授。著書「モードとエロスと資本」(集英社新書)、「ダンディズムの系譜」(新潮選書)ほか多数。



最新刊『紳士の名品50』(小学館)、発売中。雑誌「サライ」に連載された「紳士のもの選び」の単行本化。綿谷寛さん描き下ろしのイラストが表紙の表裏ほか、計6点掲載されている。公式HP <http://www.kaori-nakano.com/>